

会議結果(書面開催)

会議名	白井市子ども・子育て会議
通知発送日	令和3年2月15日(月)
協議期限	令和3年3月1日(月)
出席委員	鳥海委員、古川委員、菅森委員、板津委員、風間委員、三輪委員 桑原委員、梅本委員、寫田委員、嶋本委員、大塚委員、平塚委員 藤岡委員、森田委員 (14名)
欠席委員	4名
議題	議題1 小規模保育事業の利用定員の変更について(ひなた保育園・しろい) 議題2 認可保育所の利用定員の変更について(あい・あい保育園 西白井園) 議題3 子育て世代包括支援センターの設置について(ご報告) 議題4 平成31年度白井市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について
配布資料	(1) 議題1から議題4の資料
協議結果	書面による協議を実施した結果、協議事項について14名の委員から賛成の回答があり、原案どおり承認された。

意見等

意見1：議題4 白井市母子保健計画のアンケートの設問が、親の困り具合に寄り添う形の文言となっていて良いと思った。悩む親が増加しているため率直な回答を集めて、実態に即した施策を推進できるとよい。

【意見1に対する回答】

ご意見ありがとうございます。

引き続き母子の状況やニーズを的確に把握し、実態に即した施策を推進できるよう取り組んでまいりますので、今後ともご指導くださいますようお願いいたします。

意見2：議題3 「おめでとう訪問」でも、産休を取っている働くお母さんが増えています。健康課・子育て支援課・保育課が保健センター内で一体的になった「子育て世代包括支援センター」の存在をもっと市民(お母さんたち)に周知して有意義に活用できると良いと考えます。母子保健推進委員も「おめでとう訪問」の時にお母さんに説明したいと思います。

【意見2に対する回答】

ご意見ありがとうございます。

子育て世代包括支援センターでは、子育て支援課に子育て支援コーディネーター、保育課に保育コンシェルジュ、健康課に専門職を配置しており、窓口や身近な場で相談に応じます。それぞれが働く保護者の方の相談に応じ、サービスなどをご紹介して利用につなげていく活動を行います。

意見3：議題1・2 子どもの利用定員が増えるのは良いと思いますが、保育士の負担増とならないよう、保育士の増員、支援を必要とする子の加配保育士の充実も併せて考えていただきたいと思ひます。

【意見3に対する回答】

保育士の確保については、待機児童対策上必要な方策であるとともに、保育の質の維持向上とあわせて重要な事項であると考えています。保育士の確保策としては、私立幼稚園及び保育園と合

同で幼保就職応援フェアを開催しまして、保育士等の就労促進に取り組んでいるほか、保育士宿舍借り上げ支援事業や保育士通勤用駐車場借り上げ支援事業による就労後の保育士の負担軽減に加え、給与に係る保育士処遇改善事業補助金を交付し、保育士の定着率の向上に努めているところでございます。

また、保育の質につきましては、公立・私立保育園にかかわらず、園内において初級保育士研修や主任保育士研修など、経験年数や職位に応じた階層別研修の受講を促しております。また、平成30年度からは市の主催、または私立保育園との共催によりまして、保育の質を高める研修会を実施しているところであります。市としてもこれらの研修会等により、保育の質の維持向上への対応が図られているものと捉えています。今後においても、保育士の確保や保育の質の維持向上に係る施策については、他市の状況を参考にしつつ引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

意見4：議題3 3つそれぞれの課が窓口になっており、相談者がどの課に行けば良いのかわからない場合は、健康課へとあります。相談者が「子育て包括支援センター」としてのひとつの窓口があれば行きやすいのではないのでしょうか。

相談者がまずその窓口へ行きます。3つの課への振り分けをし、見合った課へと案内する方が各課への案内がよりスムーズだと思いました。

【意見4に対する回答】

ご意見ありがとうございます。

子育て世代包括支援センターの窓口は、掲示をして相談場所をわかりやすくするよう努めております。現状3つの課がそれぞれ相談に対応し、必要時に担当課へつないでいく体制です。窓口体制を検討するうえでの貴重なご意見とさせていただきます。

意見5：議題4 一時預かり事業について

保育士不足の現状はあるとしても、公立保育園2か所の実施では利用が難しい家庭も多いのではないかと。子育て支援センター、つどいのひろば、児童館等を曜日限定、時間限定でも良いので有効活用する方法がないか検討していただき、利用しやすくなり、子育ての負担が軽減されることが望ましいと思う。

【意見5に対する回答】

一時預かり事業は、清水口保育園、南山保育園の2か所で実施し、令和2年9月より送迎ステーションの空き時間を利用して一時預かり事業を開設しました。その時々利用者のニーズに応えられるよう、必要に応じ利用方法等の内容の見直しをしているところです。今年度においては、保護者のリフレッシュ等による私的要件の利用者が増えたことへの対応として、利用できる日数を増やしつつ、就労や学業による利用にあたっては、予約可能となる日を早めるなどの見直しを行いました。また、予約が重なり利用が難しい場合においては、キャンセル待ちとして登録したり、空いている他の日を提案するなど、できる限りお断りすることのないよう心がけております。今後も引き続き、現状の体制を維持しつつ、細やかな配慮をもって対応してまいりたいと考えています。

意見6：保育の質が下がらないようにしてほしいです。(保育士の人数や配置が書いてないので、待機解消には賛成なので、保育士の人数もちゃんと配置されると思っての「賛成」にしました。)

実際、他自治体で待機は少なくなったけど保育士さんの質が…とかの話を友人から聞くことがあります。

【意見6に対する回答】

意見3と同様です。